

8割の社員が
加入しました

社長の節税が
できました!

採用しやすく
なりました!

社会保険料・所得税を削減しながら **老後資金を積立** できる

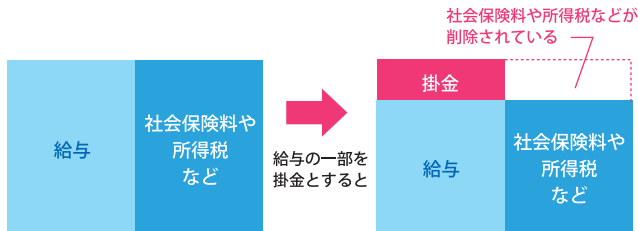
選択制確定拠出年金

をご存知ですか?

社会保険料を
削減できました!

社会保険料などが削減される仕組み

会社が拠出する確定拠出年金の掛金には、社会保険料などがかからないため、既存の給与の一部を掛金とすることにより、社会保険料などが削減されます。とはいえ、会社が社員の意思を無視して、給与の一部を掛金として拠出することは認められません。そこで、加入するか掛金をいくらにするのかを社員が選択できる選択制確定拠出年金という方法で確定拠出年金を導入する必要があります。



選択制確定拠出年金なら**40%の利益**を得ることが可能

	手取給与から 毎月20,000円積立	選択制確定拠出年金で 毎月28,000円積立
給与	310,000円	282,000円
所得税や社会保険料 (控除額)	約65,000円	約57,000円
手取給与	約245,000円	約225,000円
手取給与から 積立する金額	約20,000円	—
生活資金	約225,000円	約225,000円

8,000円の
社会保険料等
削減効果

8,000円多く
積立しても
生活資金は同じ

上記の例では毎月20,000円の掛金で毎月8,000円(40%)の利益を得るのと同じ経済的効果を実感することができます。

選択制確定拠出年金は、今話題の*iDeCo*よりもメリットが大きいです。

	社会保険料削減	所得税住民税節税	掛金上限	資格喪失年齢	加入者手数料負担	会社のコスト削減
選択制確定拠出年金	可能	可能	55,000円	60歳 但し65歳に延長可	なし	可能
<i>iDeCo</i>	不可	可能	23,000円	60歳	あり	不可

選択制確定拠出年金の効果



- ①社員は加入するか、掛金の額をいくらにするかを**選択**できます。(社員の意思を100%尊重)
- ②社員は**社会保険料や所得税などを削減しながら老後資金を積立**できます。(福利厚生への向上)
- ③給与の一部を掛金とするので掛金が**会社の追加コストになりません**。
- ④会社負担分の**社会保険料などの削減額の範囲内で、運営コストを十分に賄うことが可能**なため、**会社のコスト削減が可能**です。

書籍のご案内

導入サポートのプロが教える
会社のための
**選択制確定拠出年金を
上手に導入する方法**

著者 藤 義秋
会社にとっては社会保険料等の
金銭負担を減らすことができ、
社員にとっては老後の安心につながる
「お年寄り」をつくることのできる

「多くの社員が喜んで
加入した」
「どうして他の
会社は導入して
いないのかな?」
という感想が続々!

「選択制確定拠出年金を 上手に導入する方法」

本体価格2,000円+税 自由国民社
著者 藤(シトミ)義秋

ワンストップパートナーズ株式会社
代表取締役 特定社会保険労務士
1級ファイナンシャル・プランニング技能士
2010年から全国の企業に選択制確定拠出年金の
導入から運営までワンストップのサービス
を提供している。
わかりやすく社員向けの説明をすることで、
概ね80%程度の加入率を達成している。